熊本市中体研

理事長 船津 一真

1 はじめに

熊本市中学校体育研究会では、令和2年度から取り組んできた研究テーマ『自ら運動の喜びや楽しさを求め生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育学習の在り方』について、これまでの反省をもとに熊本市中学校授業研究会に向けて授業改善を行ってきた。今年度はテーマを新たに掲げ、これまでの研究をさらに発展させていきたい。

2 熊本市中学校体育研究会主題

主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育学習の創造

~自ら学ぶ力を育てるための有効な指導と評価の在り方について~

3 研究の概要

(1) 研究の仮説

「何を身につけさせたいか」という学びの質の向上と「何が身についたのか」という 評価の充実の二つの視点から授業を構想し、教師と生徒の学びの一体化を図ること ができれば、自ら学ぶ力を育む生徒の育成につながるだろう。

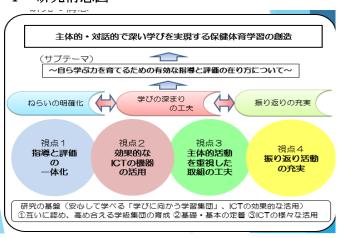
(2) 研究の視点

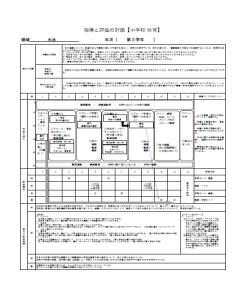
- 視点1 指導と評価の一体化
- 視点2 効果的なICT機器の活用
- 視点3 主体的活動を重視した取組の工夫
- 視点4 振り返り活動の充実

熊本市授業づくり5つの視点

- 視点1 本時のねらいに迫るめあてがある
- 視点2 授業に見通しと振り返りがある
- 視点3 本時のねらいに迫る子どもの主体的活動がある
- 視点4 学習意欲を高め、学習内容を理解させる工夫がある
- 視点5 子どもを認め、生かす場面がある

4 研究構想図





5 研究の実際

研究の視点をもとに、熊本市中学校授業研究会(10月開催)では4ブロックに分けて事前研究会及び授業研究会で研究を行った。保健分野と体育分野に分かれ、保健分野では養護教諭とのTTを行い、より専門的な知識を学べるようにした。

【北ブロック】

【南ブロック】

清水中学校 球技2年「タグラグビー」

天明中学校 ダンス1年

山中拓哉教諭

「現代的なリズムのダンス」

古本大周教諭









【東ブロック】

湖東中学校 球技1年「アルティメット」 木下真美教諭

【西ブロック】

西山中学校

保健3年「感染症の予防」

坂梨雄次教諭 池田祐美養護教諭









6 研究の成果と課題

今回の実践を通して、保健体育における主体的・対話的で深い学びを意識した授業を経験できたことは、大きな学びとなった。子ども達に主体性をもたせた授業を展開するための指導の工夫や発達段階に応じた配慮をしていくことで、子ども達が自ら課題を見つけて活動する姿も多く見られた。また、子ども達に視覚的に分かりやすいようにICT機器の活用をしたり、子ども達同士でもICTを活用しながら動きの確認や作戦会議などをしたりすることで、効果的なICTの活用力も高まった。ただ、子ども達一人ひとりの課題に対して、常に意識をもたせるための工夫や振り返り活動をさらに充実させることで、次時への意欲につながると感じた。今後は、振り返り活動をさらに充実させるためにめあてや視点を明確にすることや時間の確保等の工夫を考えていきたい。また評価について悩まれている先生がいたことも分かった。指導すべき内容とその評価の確認をしながら、「何ができるようになるか」という目指す資質・能力と「何が身についたか」という学習評価にずれやねじれが生じないように今後も研究を進めていきたい。